

昭和 6 2 年 7 月招集

第 2 回館山市議会臨時会会議録

館山市議会



# 目 次

開 会	3
議長の報告	3
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
議案第 2 7 号	4
説明	4
神田守隆君の質疑、当局の応答	5
委員会付託の省略	7
採決	7
発議案第 6 号	8
説明	8
委員会付託の省略	9
採決	9
閉 会	9
本日の会議に付した事件	9

1 昭和62年7月29日(水曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 27名

1 番 脇田 安保  
3 番 田沢 勝信  
5 番 岩村 勝弘  
7 番 生稻 陞  
9 番 山口 康雄  
11 番 神田 守隆  
13 番 山中金治郎  
15 番 横溝 功  
17 番 石井 謀  
19 番 川名 正二  
21 番 辻田 実  
23 番 流山源次郎  
26 番 近藤 好雄  
28 番 飯田 義男

2 番 永井 龍平  
4 番 庄司二三男  
6 番 山崎 雅己  
8 番 鈴木 勝美  
10 番 鈴木 忠夫  
12 番 榎本 春光  
14 番 小宮 利夫  
16 番 石井 昌治  
18 番 日下 君敏  
20 番 福原 勤  
22 番 黒川 平治  
25 番 渡辺 昭夫  
27 番 林 豊

1 欠席議員 1名

24 番 松下 正己

1 出席説明員

市長 半澤 良一  
収入役 山田 俊康  
総務部長 飯野 芳郎  
教育委員会 福原 修  
教育委員会 会長

助 役 小倉 澄男  
市長公室長 錦織 茂  
教育委員会 正木 高朗  
農業委員会 池田 六郎  
農事 局長

1 出席事務局職員

事務局 局長 庄司 利光  
書記 鈴木 哲  
書記 加藤 浩一

事務局補佐 兵藤 恭一  
書記 土橋 康彦

1 議事日程

昭和62年7月29日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第27号 工事請負契約の締結について

日程第4 発議案第6号 農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について

開 会 午前11時53分

○議長（飯田義男君） 本日の出席議員数27名、これより昭和62年第2回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（飯田義男君） 本臨時会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

議案の配付

○議長（飯田義男君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（飯田義男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
3番議員田沢勝信君、25番議員渡辺昭夫君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（飯田義男君） 日程第2、会期の決定を行います。

本臨時会の会期につき議会運営協議会の意見は本日1日ということがあります。

お諮りいたします。会期を1日と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(飯田義男君) 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

#### 議案の上程

◎議長(飯田義男君) 日程第3、議案第27号工事請負契約の締結についてを議題といたします。

議案の朗読を願います。

(書記朗読)

◎議長(飯田義男君) 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

◎議長(飯田義男君) 議案の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

◎市長(半澤良一君) 本日、ここに急遽第2回市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆さま方におかれましては御多忙の中を御出席賜り、まことにありがとうございます。

提案理由の説明に先立ちまして、一言お祝いの言葉を申し上げたいと存じます。

このたび、全国市議会議長会から飯田義男議長が永年勤続自治功勞の表彰の榮に浴されましたことは、まことにおめでたい限りであり、心からお祝いを申し上げますとともに、今後とも市政發展のため御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今回急施を要するものとして御審議をお願いする案件は、一般議案1件でございます。以下、その概要について御説明申し上げます。

議案第27号工事請負契約の締結についてでございますが、館山市立第二中学校講堂防音改築工事に係る指名競争入札の結果、株式会社石井工務店が2億8100万円をもって落札しましたので、同社と工事請負契約を締結しようとするものでございます。

工事内容といたしましては、現在の老朽化した講堂を取り壊し、講堂兼体育室、ステージ、控室、器具庫及び機械室等を備えた鉄筋コンクリ

一ト造り平家建て、延べ面積1272㎡の講堂を建築しようとするもので、工期を翌年3月25日までとするものごさいます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（飯田義男君） 議案の説明は終わりました。

### 質 疑 応 答

○議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。

○11番（神田守隆君） 3点ばかりお尋ねいたします。

1つは、二中の講堂を建てかえるということですから、二中には市民体育館が隣接して設置されているわけで、これまでも学校等でかなり利用されてきたと思います。これまで講堂だったものを講堂兼体育室ということで、体育の授業にも使える内容になるんだろうというふうに理解するわけですが、こうした点で既存の市営体育館の利用との兼ね合いをどのように考えておられるかということ。

それから、指名競争入札が12社ということでもありますから、12社の社名についてお聞かせいただきたい。

それから、3点目は、ちょっとこれに関連するわけではありますが、昨今各地で、防音校舎の中で、防音対策上非常に効果的だということで一時期石綿、いわゆるアスベストが大量に使われたという経過があって、これがその後発ガン性があるということで、現在新聞紙上賑わしているわけではありますが、当然、今度の工事の内容ではそういうことはないというふうに思いますけれども、これまで館山市で行った防音改築工事に伴うこうした石綿、アスベストの使用等について調査されておるかどうかお聞かせいただきたいと思います。

○教育長（福原 修君） 講堂と申しますのは、防衛庁の補助金をもらう場合に講堂と称しておりまして、一般的には屋内運動場でございますので、当然体育館として使用するようになるわけでございます。

それから、市民体育館との兼ね合いはどうか——現在ありますのは、市民優先の体育館でございますから、二中の生徒が使用するにあたりましては、市民が使用している場合は二中の生徒は使えないという現状で

あったわけでございます。普通は、昭和28年につくりました古い方の体育館を使っておったわけでございますが、御承知のとおりだと思いますが非常に老朽化してまいりましたので、二中の生徒が使用するのが困難になったわけでございます。それで新しくこのようにつくるようになったわけでございます。

それから、第2の質問はほかの方の答弁に任せまして……。

第3の質問でございますが、実は詳しく調べてございせんけれども、いわゆる使用しております体育館のフロア等についてはありませんけれども、防音の体育館等の機械室の中に使われているということがわかっております。これにつきましては、機械室というのは生徒、その他一般の関係者は入れませんので、特別、現在生徒の健康に影響を与えるということはございせんけれども、害を及ぼすものであるということがしっかり判明をいたしたならば、直ちに調査いたしましてそれに応ずる対策を立てなければいけないと思います。今度の新しい二中の体育館の機械室にはもちろん使われておりません。

以上でございます。

◎総務部長（飯野芳郎君） 第2点目の、今回の指名業者名につきましてでございますけれども、今回の工事請負につきましては、設計金額が1億円以上でありましたので12社を指名したところでございます。その内容でございますけれども、株式会社石井工務店、株式会社計工務店、渡辺建設株式会社、富士土建株式会社、これが地元業者4社でございます。次に、青木建設株式会社、株式会社大林組、株式会社熊谷組、鹿島建設株式会社、戸田建設株式会社、東急建設株式会社、飛鳥建設株式会社、三菱建設株式会社、以上8社が県外業者でございます。

◎11番（神田守隆君） アスベストについては、機械室に一部使用されているという現状ですが、県教委の方でも全部調査をしてしがるべく報告せりというような通達が出ているように新聞報道されておりますけれども、市としてはこれについての調査を——一部あるということとは、やったからわかったということなのか、それとも全面的に今後もやる予定なのか、その点とすでに判明している分については、現状では直ちに害はないという認識のようですが、しかし撤去する必要があるというふ



うに考えておるのか、その辺についてお聞かせいただきたいと思います。

◎教育長（福原 修君） 県からはまだそういう調査をしろ、そういう対策を立てろという指示はきておりません。まだきておりませんが、新聞紙上にあれだけの報道がなされた以上、私たちとしてはできるだけ詳細に調査を改めて行って、そしてその対策を講じたいと思っております。現在、まだ未調査でございますので、これから調査が終わり次第、その対策につきましては考えていきたい、こう考えております。

◎議長（飯田義男君） 他に御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

#### 討 論

◎議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論はありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午後零時 0 5 分 休憩

午後 3 時 12 分 再開

○議長（飯田義男君） 午後の出席議員数 26 名、休憩前に引き続き会議を開きます。

#### 議案の上程

○議長（飯田義男君） 日程第 4、発議案第 6 号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦についてを議題といたします。

本案は地方自治法第 117 条の規定により、小宮利夫君、川名正二君の一身上の事件でありますので、退席を求めます。

（14 番議員小宮利夫君、19 番議員川名正二君退場）

○議長（飯田義男君） 議案の朗読を願います。

（書記朗読）

○議長（飯田義男君） 朗読は終わりました。

#### 議案の内容説明

○議長（飯田義男君） 議案の説明を求めます。

（26 番議員近藤好雄君登壇）

○26 番（近藤好雄君） 発議案第 6 号農業委員会の委員となるべき学識経験者の推薦について提案理由の御説明を申し上げます。

選考経過等、詳細につきましては省略させていただきますが、慎重に選考の結果、小宮利夫君、川名正二君、庄司勝江君、宮木久良君を最適任者と認め、推薦いたしたく、6 名の賛成者を得まして本案を提案した次第でございます。

満場の御賛同を賜りますようお願いいたしまして、提案理由の説明といたします。

○議長（飯田義男君） 提出者の説明は終わりました。

#### 質疑応答

○議長（飯田義男君） これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。——御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

### 委員会付託の省略

○議長（飯田義男君） お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

### 討 論

○議長（飯田義男君） これより討論を行います。

討論ありませんか。——討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

### 採 決

○議長（飯田義男君） これより採決いたします。

本案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田義男君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案どおり可決されました。

（14番議員小宮利夫君、19番議員川名正二君入場）

### 閉 会 午後3時17分

○議長（飯田義男君） 以上で本臨時会に付議されました案件は議了されました。

よって、これにて第2回市議会臨時会を閉会いたします。

### ○本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 議案第27号

1 発議案第 6 号

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

館山市議会議長      飯      田      義      男

館山市議会議員      田      沢      勝      信

館山市議会議員      渡      辺      昭      夫